科目ナンバリング	U-LAS29 20026 SJ48						
授業科目名<英訳>	日本語概論 Introduction to Japanese Linguistics			担当者所属職名・氏名	国際高等教育院 教授　　パリハワダナ　ルチラ		
群	外国語科目群			分野(分類)		使用言語	日本語
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	木2	配当学年	1回生	対象学生	留学生

[授業の概要・目的]

私たちは言語を媒体として言語外の様々な事象を把握する。故に、言語の仕組みや体系に対する理解は、その言語を通した言外の事象の見方・捉え方を知る貴重な手がかりとなる。
この授業では、人称表現のタブー化、主語の省略、ウチ・ソトの区別、話し手視点による表現法といった日本語の諸特徴について考察しつつ、それらに対する理解力を育成することを目指す。
更に、取り上げる項目に関する日本語学習者の誤用に着目することにより、日本語に対する理解の向上を図る。

[到達目標]

日本語の様々な特徴に対する理解を深めると共に、履修者の母語との対比を通して、日本語の言語事象を分析する関心・能力を養うことを本授業の目的とする。

[授業計画と内容]

以下の通りに進めていく予定であるが、履修者の興味や背景に応じて変更する場合もある。

第1回　履修ガイダンス・話し手中心の言語としての日本語
第2回　人称表現・タスク①母語との比較
第3回　格助詞の諸問題――補語と述語・課題①
弟4回　「は」と「が」――主題と主語・課題②
第5回　ヴォイス――受け身と使役――・課題③
第6回　授受表現と視点・課題④
弟7回　複文――条件表現を中心に――
第8回　言語における時間――テンス・アスペクト――・課題⑤
第9回　認め方――否定表現を中心に――・課題⑥
弟10回　取り立て助詞――前提と影・課題⑦
第11回　必然性と義務
第12回　ぼかし表現と含み・課題⑧
第13回　評価と若者言葉・タスク②
第14回　終助詞と情報構造・課題⑨
《期末試験》
第15回　フィードバック

[履修要件]

日本語・日本文化研修留学生専用科目として開講する。

日本語概論(2)へ続く↓↓↓

日本語概論(2)

[成績評価の方法・観点]

以下の通りに評価する。
授業活動への参加度合：20%
タスク及び課題：40%
期末試験：40%

[教科書]

使用しない
プリントを配付する。

[参考書等]

（参考書）
松岡弘監修『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』（スリーエーネットワーク）
ISBN:4-88319-155-9（2000）
白川博之監修『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』（スリーエーネットワーク）
ISBN:4-88319-201-6（2001）
工藤浩他『改訂版　日本語要説』（ひつじ書房）ISBN:978-4894764682（2009）

[授業外学修（予習・復習）等]

配布プリントを用いて各回の授業内容を復習すること。

[その他（オフィスアワー等）]

木曜日４限（14:30〜16:15）**をオフィスアワーとする。**
研究室：旧石油化学教室本館棟105**号室**
E-mail**アドレス：**palihawadana.ruchira.8n@kyoto-u.ac.jp

[主要授業科目（学部・学科名）]